

令和3年度「図書総点検」結果

令和4年1月26日

・日程

令和3年12月7日(火)～12月20日(月) 10日間

・点検対象・総数

開架閲覧室、書庫資料、地図資料など 約41万7千点

・点検結果

今年度点検分については、新たに82点(図書76点 雑誌6点)が所在不明となったことがわかりました。

・概要

令和3年12月7日(火)～12月20日(月)の10日間にわたり「図書総点検」を行いました。期間中は館内資料の配列、移動作業、蔵書データの突き合わせ作業等を行い、迅速かつ確実なサービスを行うための態勢を整えることができました。

・目的

当館は 100 万点を超える蔵書があります。これらの中から、迅速かつ確実に資料を探し出すためには、コンピュータのデータどおり正しい場所に資料が置かれている必要があります。そのためには、実際に書架にある資料とコンピュータのデータを突き合わせ、正しい場所に置き直したり、資料やコンピュータのデータを必要に応じて変更・訂正したりする必要があります。この作業を「図書総点検」と呼び、当館では年1回定期的を実施しています。

・日程

当館は蔵書冊数が多く、一度に全蔵書を点検することは日程上困難なため、4年サイクルで一巡するよう蔵書を分けて点検(開架閲覧室の資料は毎年点検)しています。利用者のみなさまにできるだけご迷惑がかからないよう、利用が比較的少ない時期を選びました。

・点検方法

1	館内の全蔵書を背ラベルどおりに配列します。
2	ポータブルのバーコード読み取り機を使って、点検箇所の全ての資料のバーコードを1冊1冊読み取ります。
3	読み込んだデータと蔵書のデータを突き合わせます。 所在場所とデータが違う資料や、所在が不明な資料等、問題がある資料がリストに打ち出されます。
4	リストに従い、所在不明の資料が間違った場所に置かれていないか、書架の奥に落ちていないかなどを探索します。
5	発見された資料を正しい場所に排架するとともに、必要に応じてラベルやデータを正しく修正します。

利用者のみなさまには、当館の資料の整備にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。